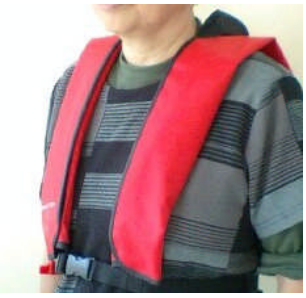
膨脹式救命胴衣は自主(日常)点検・定期点検(1 年)が必要です！



膨脹式救命胴衣は固形式救命胴衣に比べ、軽量・コンパクトで身動きしやすく、とても便利な救命器具ではありますが、その浮力体が空気(炭酸ガス)という特性上、使用時には確実に膨脹し気密を保つ必要があります。
従いまして着用前の自主点検(日常点検)と定期点検は大変重要です。

定期点検はメーカー認定整備士のいるサービス・ステーションへ！

国内救命胴衣メーカー各社の整備技術講習を修了した整備士が点検・整備を行います。

基本的には各メーカーの整備要領書に従い点検・整備を行いますが、普段は膨脹式救命いかだ・浮器などの整備業務に携わる整備士が点検を行いますので、傷、ほつれ、経年劣化の状態による合否判定や補修可否の判断もその経験を生かし、しっかり行われます。

また、サービス・ステーションでは”整備記録”を発行しますので、製造後5年を経過した救命胴衣で船検(小型船舶)を受ける場合、書類によって検査員による点検を省略できる場合があります。

(詳しくは JCI 各支部 にお尋ね下さい)

※膨脹式救命胴衣の定期点検(1 年毎)は現在、法的義務がある分けではありません。メーカーによっては定期点検もユーザーによる点検でも可(取扱説明書などに記載)としている場合があります。
しかしながら、技術・経験・設備の整ったサービス・ステーションでの点検をお勧め致します。
ご自身や乗組員さん、家で待つご家族の為にもぜひ！

膨脹式救命いかだ・救命胴衣　サービス・ステーション

有限会社 石巻エンドレス工業

宮城県石巻市湊字大門崎 122　〒986-0011
TEL:0225-95-5321　FAX:0225-95-5320
info@iendless.biz-web.jp　http://www.iendless.biz-web.jp

整備できるメーカー:
高階救命器具・ワイズギア・RFD ジャパン・アキレス・興亜化工・国際化工・東洋物産・日本救命器具
日本船具・藤倉航装・藤倉ゴム工業

←圧縮空気(コンプレッサー)の除湿・油分除去装置

内圧計を使った漏洩テスト →

ボンベの計量→
(ガス漏れの有無を点検)

使用した場合、誤って膨脹させてしまった場合など・・・

そんなときもサービス・ステーションで点検・整備を！